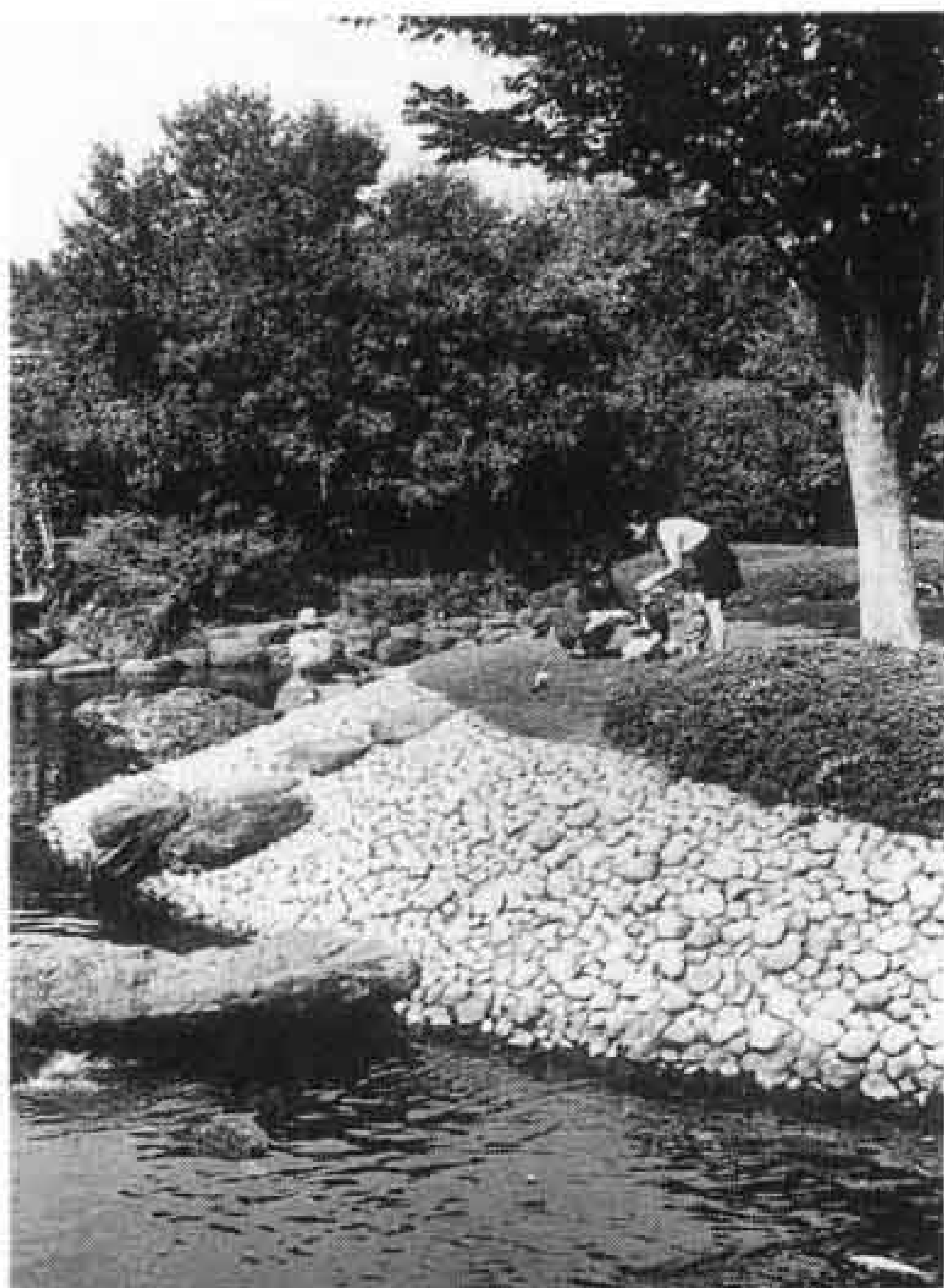


まちかど★
ネットワーク

お便りください

このコーナーは、皆さんの地域の問題をお届けしています。
広報広聴課 ☎51-0123内線2822へお便りください。

市長への
手紙から



もつとすてきな
楽しい公園を

家族で美容院を営んでいる桜井さん。三歳になる娘さんと、休みの日には中央公園へ行ってリフレッシュ。すてきな楽しい公園をもっとふやしてほしいと、お便りがありました。

〈市長への手紙から〉

子供が生まれてから、初めて中央公園へ行き、感激してしまいました。富士市にもこんなすてきな公園があるんだなあと。

広々とした芝生に寝転がり、青々とした空を見ていると、疲れがスーッと抜けていきます。中央公園は、毎日が忙しい私にとって安らぎの場所となっています。

欲を言えば、ブランコや滑り台、アスレチックなどがあれば、もっと多くの子供から大人まで楽しめる場所になると思います。そんなすてきな楽しい公園をもっとふやしていただけたらいいですね。



桜井友子さんと美奈ちゃん(伝法)

〈市長の答え〉

中央公園は、緑あふれるすばらしい公園として整備されており、おかげさまで市民の憩いの場として、広く愛されています。

残念ながら、この中央公園には、お手紙の中で言われているようなブランコや滑り台、アスレチックなどの遊具は、今のところ整備されていません。

しかし、中央公園西側にある市民プールの移転計画に伴い、プール跡地を公園として整備していくという計画があります。その中で、子供たちに人気のある大型遊具や遊び場などの設置を検討しているところですよ。

また、子供から大人まで楽しめる公園づくりについては、市内各地で現在利用されている公園を改修して、より魅力ある公園にしていくという「公園ルネッサンス事業」の中で取り組んでいきます。

そこに道があるから歩く
東海自然歩道を歩く会会長

ぬか つか よし ほる
糠塚良治さん

(中央町)



吉 原公民館の主催事業として平成二年に「東海自然歩道を歩く会」は発足。広報ふじの募集記事を読んで申し込んだ糠塚さんは、初会合の日いきなり会長に任命されてしまったとか。今では約六十人の会員と一緒に、自主的に活動しています。

「東海自然歩道」とは、東京の高尾山から大阪の箕面を結び、全延長千二十歳の長距離自然歩道。歩く行程を十七、八歳くらいずつに区切り、年七回ほど歩いて進みます。東京から出発して、現在で



は愛知県足助町(香蘭溪)まで到達。平成九年までにすべての道のりを踏破するのが目標と語る糠塚さん。「かなりのハイペースなので、自然と親しむというよりも、黙々と歩くという感じ。登山家が『そこに山があるから登る』と言うように、私たちもそこに道があるから歩くんですよ」と笑います。

学 生のころから糠塚さんは、登山や旅行などで全国各地を歩き回っていたそうですが、結婚してからは、いつも奥さんと一緒。東海自然歩道はもちろん、最近は市内の「歩く健康づくり一万歩コース」を一緒に歩いています。特に岩松の「治水の歴史コース(岩本山公園、実相寺、かりがね堤など)」をよく歩いているとのこと。

「これから、もっと年をとったとしても、いつまでも妻と一緒に仲よく歩き続けていきたいですね」